



ポピー（あわじ花さじき）

わたしたちのまちの 景況レポート No. 25

2021 年 1～3 月期実績・2021 年 4～6 月期見通し

今日も 楽しい おつきあい



淡路信用金庫

調査概要

- 調査時期 : 2021 年 1～3 月期実績・2021 年 4～6 月期見通し
- 調査方法 : 当金庫の営業店職員による「聴取り」調査
- 調査企業数 : 673 社

製造業	155 社	卸売業	96 社	小売業	116 社
サービス業	116 社	建設業	141 社	不動産業	49 社
- 調査地区 : 当金庫事業地区（洲本市、淡路市、南あわじ市、明石市、神戸市、芦屋市、西宮市、
 尼崎市、加古郡稲美町、加古郡播磨町、加古川市、高砂市、三木市）
- 分析方法 : D. I.（「良い」「増加」「上昇」の回答割合－「悪い」「減少」「下降」の回答割合）
 ※不変部分を除き、「良い」「悪い」のどちらの力がどれだけ強いかを調べる方法

指標	内容	プラス	マイナス
業況	調査時点での回答企業の業況「良い」－「悪い」	良い＞悪い	良い＜悪い
売上額	前期（四半期）と比較した売上「増加」－「減少」	増加＞減少	増加＜減少
収益	前期（四半期）と比較した収益「増加」－「減少」	増加＞減少	増加＜減少
販売価格	前期（四半期）と比較した販売価格「上昇」－「下降」	上昇＞下降	上昇＜下降
仕入価格	前期（四半期）と比較した仕入価格「上昇」－「下降」	上昇＞下降	上昇＜下降
人手過不足	調査回答時点での人手「過剰」－「不足」	過剰＞不足	過剰＜不足
資金繰り	前期（四半期）と比較した資金繰り「楽」－「苦」	楽＞苦	楽＜苦

設備投資企業割合 設備投資実施の有無

例

人手不足▲50とは

人手	(1)過剰 (2)やや過剰 (3)適正 (4)やや不足 (5)不足
----	-----------------------------------

↓ 回答数を集計し、回答割合を算出

	(1)過剰	(2)やや過剰	(3)適正	(4)やや不足	(5)不足	合計
回答数	35	35	210	280	140	700
回答割合	5.0%	5.0%	30.0%	40.0%	20.0%	100.0%

$$\text{人手不足} = \underbrace{10}_{(1)+(2)} - \underbrace{60}_{(4)+(5)} = \text{▲}50$$

【問合せ先】

淡路信用金庫 業務部

担当：^{みのだ} 簗田、^{もみのき} 樺木、^{みくら} 三倉

TEL：0799-22-1020

業種別地区別天気図

地区 業種	全事業地区 (673先)			淡路地区 (388先)			神明地区 (285先)		
時期	2020年 10～12月 (前期)	2021年 1～3月 (今期)	2021年 4～6月 (見通し)	2020年 10～12月 (前期)	2021年 1～3月 (今期)	2021年 4～6月 (見通し)	2020年 10～12月 (前期)	2021年 1～3月 (今期)	2021年 4～6月 (見通し)
総合									
製造業									
卸売業									
小売業									
サービス業									
建設業									
不動産業									

好調← →低調

全業種

前期 今期 来期

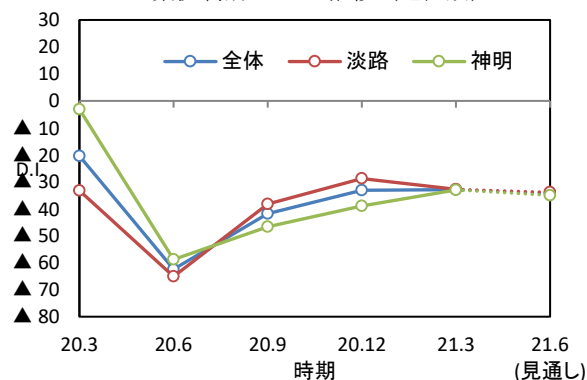
今期(2021年1～3月期)の業況は▲32.9となり、前期(2020年10～12月期)▲33.1に比べ0.2ポイントのプラスと、ほぼ横ばいで、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が依然として大きく、厳しい水準での推移となっている。

項目別では、売上額▲31.2(前期▲18.0)は13.2ポイントマイナス幅が拡大、販売価格▲3.0(前期▲5.6)では2.6ポイントプラスとなるも、仕入価格が12.5(前期6.5)と上昇したことから、収益はマイナス幅が11.2ポイント

ト拡大し、▲30.0(前期▲18.8)となった。人手不足感については▲15.1(前期▲21.8)で6.7ポイント改善、資金繰りについては▲2.1(前期▲4.3)で2.2ポイントの大幅改善となった。

来期(2021年4～6月期)の見通しについては、売上額、収益共にマイナス幅が縮小見込みで、資金繰りについても改善傾向が見られるが、人手不足感には▲17.2と悪化が予想されている。業況見通しは▲34.3で、新型コロナウイルス感染症再拡大の懸念が反映されている。

業況判断D.I.の推移(地区別)



	2020年12月 (前期)	21年3月 (今期)	21年6月 (見通し)
業況	-33.1	-32.9	-34.3
売上額(前期比)	-18.0	-31.2	-10.7
収益(前期比)	-18.8	-30.0	-9.7
販売価格(前期比)	-5.6	-3.0	-2.5
仕入価格(前期比)	6.5	12.5	10.6
人手過不足(過剰-不足)	-21.8	-15.1	-17.2
資金繰り(楽-苦)	-4.3	-2.1	0.0
設備投資実施企業割合(%)	22.3	20.3	21.3

製造業



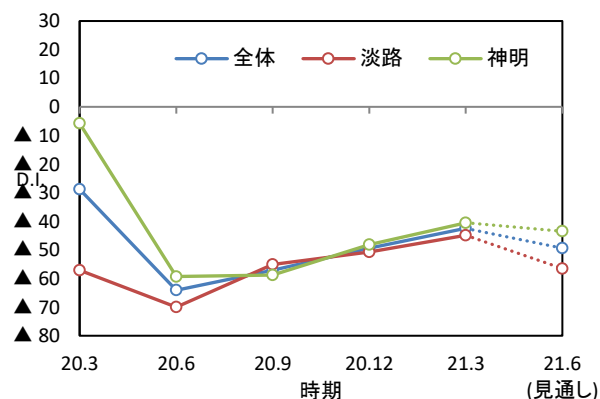
今期の業況は▲42.5で、6.9㊦の改善となったが、売上額▲37.4(前期▲25.3)、収益▲36.8(前期▲27.9)と共にマイナス幅が拡大し、依然経営環境は厳しい状況。新型コロナウイルス感染症再拡大の懸念から来期は前期と同水準まで悪化見通しとなっている。人手不足感は、やや緩和された。

お客様の声

大手メーカーが商品開発に消極的で、見通しの不透明感は払拭出来ていない。工場・機械の狭小・老朽化が経営上の課題で、設備投資を進める必要性を感じているが、コロナ感染症終息の兆しが見えず、取り組めていない。(淡路)

緊急事態宣言の再発令により出社人員の削減、テレワークの推奨など感染予防に取組んだ上での営業活動を余儀なくされており、本来の業態に回復したとはいえない。取引先企業においても設備投資への意欲減退が予想され、復調まで期間を要する見込み。(神明)

業況判断 D.I. の推移 (地区別)



(D.I.)

	20年12月 (前期)	21年3月 (今期)	21年6月 (見通し)
業況	-49.4	-42.5	-49.4
売上額(前期比)	-25.3	-37.4	-18.1
収益(前期比)	-27.9	-36.8	-12.9
販売価格(前期比)	-7.1	-7.1	-1.3
仕入価格(前期比)	6.5	13.5	13.5
人手過不足(過剰-不足)	-13.0	-5.8	-5.8
資金繰り(楽-苦)	-15.6	-2.6	-3.2
設備投資実施企業割合(%)	20.5	14.5	21.6

卸売業



今期の業況は▲45.8で、前期の▲47.5から1.7㊦改善、また来期の見通しは9.3㊦改善の▲36.5となっている。

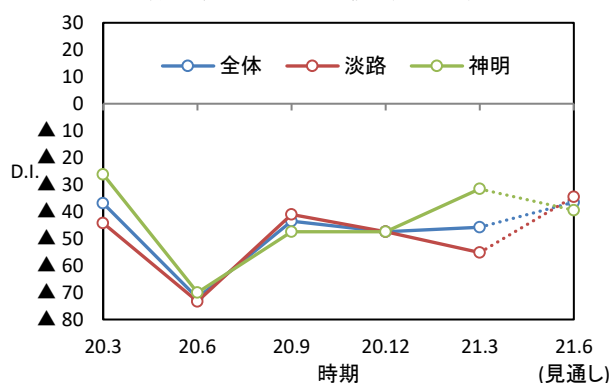
売上額▲39.6(前期▲30.7)、収益▲37.5(前期▲33.7)でマイナス幅拡大しているが、来期の予想は売上額▲3.1、収益▲2.1と改善の見通し。地区別の来期見通しは、淡路地区は売上額3.4(今期▲51.7)、収益5.2(今期▲51.7)とプラスに転じている。神明地区は売上額▲13.2(今期▲21.1)、収益▲13.2(今期▲15.8)の見通しである。

お客様の声

コロナウイルス感染症拡大の影響で観光イベントの中止が相次ぎ減収減益の状況。今春以降、回復を見込んでいるが、アフターコロナに対応する為、補助金を活用しながら新規事業へ参入する意向。(淡路)

E C サイト等の非対面販売は順調であるが、緊急事態宣言の再発令により百貨店等の対面販売は厳しい状況で、コロナ感染症終息の目途が立っておらず、先行き不透明感は払拭出来ていない。(神明)

業況判断 D.I. の推移 (地区別)



(D.I.)

	20年12月 (前期)	21年3月 (今期)	21年6月 (見通し)
業況	-47.5	-45.8	-36.5
売上額(前期比)	-30.7	-39.6	-3.1
収益(前期比)	-33.7	-37.5	-2.1
販売価格(前期比)	-6.9	1.0	-5.2
仕入価格(前期比)	-5.0	4.2	4.2
人手過不足(過剰-不足)	-9.0	-1.0	-12.5
資金繰り(楽-苦)	3.0	5.2	8.3
設備投資実施企業割合(%)	19.6	25.0	17.8

小売業

前期



今期



来期



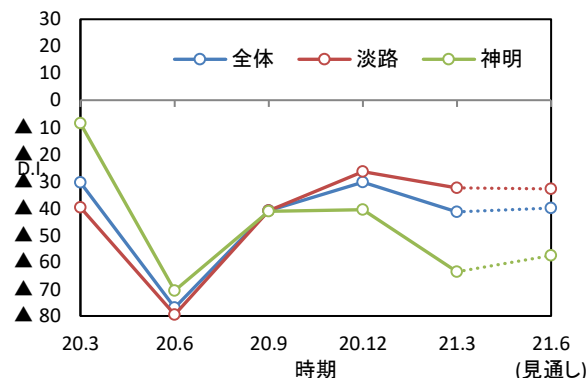
今期の業況は▲41.4(前期▲30.4)、売上額▲47.4(前期▲21.7)、収益▲41.4(前期▲19.1)といずれも大幅に悪化。地区別では、淡路地区▲32.5(前期▲26.5)、神明地区▲63.6(▲40.6)で、神明地区でのマイナス幅拡大が大きかった。来期は業況、売上、収益共に改善の見通し。人手不足感、資金繰りについては、横ばいの見通しである。

お客様の声

緊急事態宣言の発令により休業していたが、この間に従業員の育成をはじめとして、営業再開時に向けた準備を進めている。(淡路)

コロナの影響で売上の減少に加え、燃料費が上昇傾向にあり、経費面でも負担が増加。ハローワークを通じて人員を募集しているが、若い人材の確保には苦労している。(神明)

業況判断 D.I. の推移 (地区別)



(D.I.)

	20年12月 (前期)	21年3月 (今期)	21年6月 (見通し)
業況	-30.4	-41.4	-40.0
売上額(前期比)	-21.7	-47.4	-16.4
収益(前期比)	-19.1	-41.4	-15.5
販売価格(前期比)	-5.2	6.0	1.7
仕入価格(前期比)	5.2	15.5	10.3
人手過不足(過剰-不足)	-21.9	-7.0	-7.0
資金繰り(楽-苦)	-7.0	-5.2	-5.2
設備投資実施企業割合(%)	15.6	12.6	11.6

サービス業

前期



今期



来期



今期の業況は、GoTo キャンペーンの停止や2度目の緊急事態宣言発令等の影響もあり▲52.2と前期比18.3%の悪化。

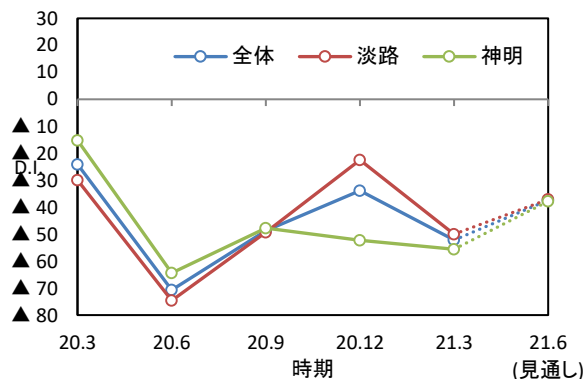
売上額は▲41.4(前期▲8.7)、収益は▲39.7(前期▲12.2)と悪化し、コロナ感染症の影響が大きい。来期予想については、緊急事態宣言解除やワクチン接種開始等への期待感から、売上額でプラスに転じるなど、改善の見通しである。

お客様の声

食料などの生活必需品の売れ行きは順調で、各種キャンペーン等もあり、一定の売上は確保。一方、地域行事が軒並み中止され、配達等は減少。鳥インフルエンザの影響により、鶏肉・鶏卵の仕入価格が高騰した。(淡路)

コロナウイルス第3波により、配達サービスを強化し、新商品の取り扱いや、高齢で免許証を返納した方には配達料を無料にするなど、新常態に向けた施策を講じている。(神明)

業況判断 D.I. の推移 (地区別)



(D.I.)

	20年12月 (前期)	21年3月 (今期)	21年6月 (見通し)
業況	-33.9	-52.2	-37.4
売上額(前期比)	-8.7	-41.4	2.6
収益(前期比)	-12.2	-39.7	-1.7
販売価格(前期比)	-4.4	-4.3	-0.9
仕入価格(前期比)	8.7	4.3	6.0
人手過不足(過剰-不足)	-26.1	-19.8	-26.1
資金繰り(楽-苦)	-7.0	-12.9	-3.4
設備投資実施企業割合(%)	27.4	25.9	24.3

建設業

前期

今期

来期

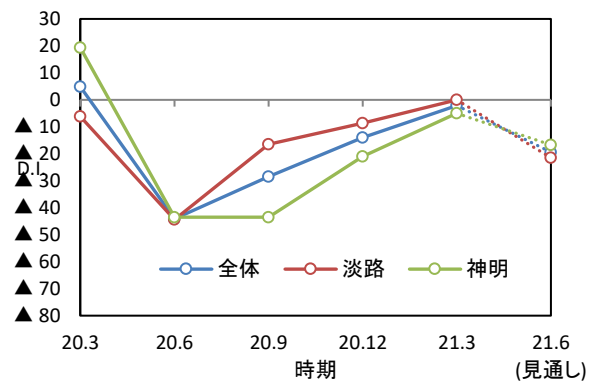
今期の業況は▲2.1で、前期▲14.0から11.9割の改善。売上額も▲7.8で、前期▲11.2より3.4割改善した。しかしながら先行きの不透明感は払拭されず、来期は悪化の見通し。収益については▲10.6で、前期の▲9.8から0.8割の悪化となった。雇用面では、前期▲40.8、今期▲38.6、来期見通し▲35.7と緩やかに改善傾向にあるものの、大きくマイナスの状況にあり、慢性的な人手不足の状態が窺える。

お客様の声

技術力を持った人材の不足と経営の多角化を進める上での人材不足に悩まされている。新規事業への取り組みは各種専門機関との連携、支援を積極的に活用し、経営の安定を図りたい。(淡路)

長期的には売上高は右肩上がり、業容拡大に伴う増員により固定費も増加。人員に見合う売上の確保と共に部材一つからの原価管理、特に従業員への意識付けが重要と認識している。(神明)

業況判断 D.I. の推移 (地区別)



(D.I.)

	20年12月 (前期)	21年3月 (今期)	21年6月 (見通し)
業況	-14.0	-2.1	-19.4
売上額(前期比)	-11.2	-7.8	-18.4
収益(前期比)	-9.8	-10.6	-17.0
販売価格(前期比)	-6.3	-6.4	-7.1
仕入価格(前期比)	14.0	21.4	15.0
人手過不足(過剰-不足)	-40.8	-38.6	-35.7
資金繰り(楽-苦)	4.9	2.1	2.9
設備投資実施企業割合(%)	27.1	25.0	28.6

不動産業

前期

今期

来期

今期の業況は0.0(前期▲12.2)、売上額0.0(前期▲2.0)と、ともに前回調査時より回復した。収益も0.0と前期比横ばい。

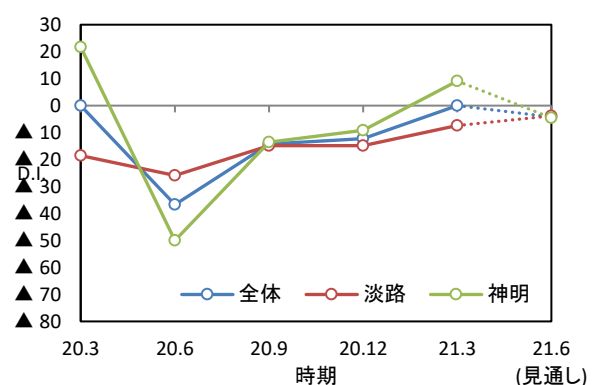
淡路島内は大手企業の進出、阪神エリアでは商品土地の不足感等により、ともに仕入価格は上昇傾向にあり、来期見通しも高止まりとなっている。地区別の仕入価格は、淡路地区は11.5(来期15.4)、神明地区は13.6(来期9.1)である。

お客様の声

大手企業の本社移転に伴う社員の移住や、コロナ禍における田舎暮らし需要の高まりにより売買・賃貸ともに問い合わせが増加。物件は不足傾向にあり、価格上昇が予想される。(淡路)

阪神間の住宅ニーズは引き続き旺盛であるが、事業用地仕入価格が高止まりしていることから、採算に見合う土地が無く、商品在庫は不足する懸念がある。(神明)

業況判断 D.I. の推移 (地区別)

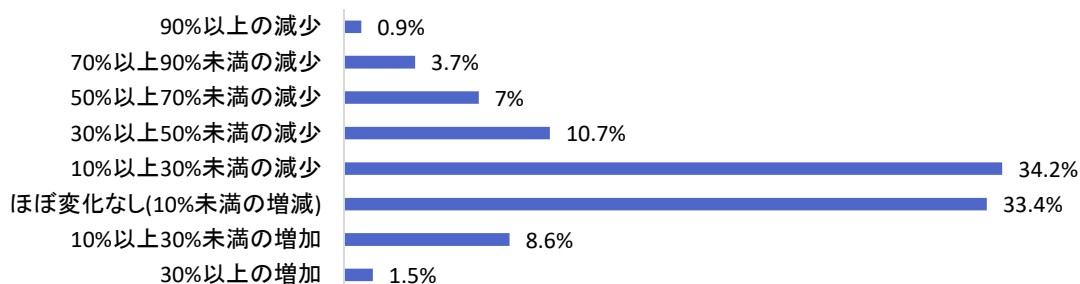


(D.I.)

	20年12月 (前期)	21年3月 (今期)	21年6月 (見通し)
業況	-12.2	0.0	-4.2
売上額(前期比)	-2.0	0.0	2.0
収益(前期比)	0.0	0.0	2.0
販売価格(前期比)	0.0	-6.1	-2.0
仕入価格(前期比)	6.3	12.5	12.5
人手過不足(過剰-不足)	-10.4	-12.5	-12.5
資金繰り(楽-苦)	2.0	6.1	6.1

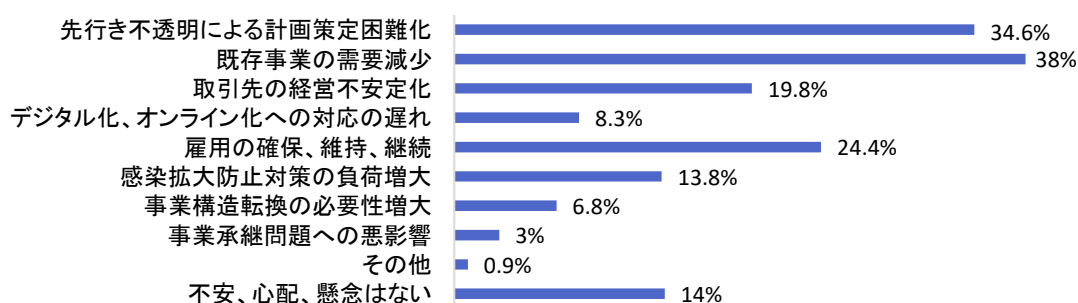
問1 例年と比較しての売上の変化

新型コロナウイルスの影響がなかった例年の1～3月と今期(1～3月)の売上比較についての問いに対し、「10%以上減少」の回答が56.5%を占めた。業種別では、サービス業(68.1%)、次いで製造業(65.1%)が大きく影響を受けている。「ほぼ変化なし(10%未満の増減)」は33.4%。「10%以上の増加」は10.1%で、業種別では、建設業、不動産業において増加に転じている回答が目立った。



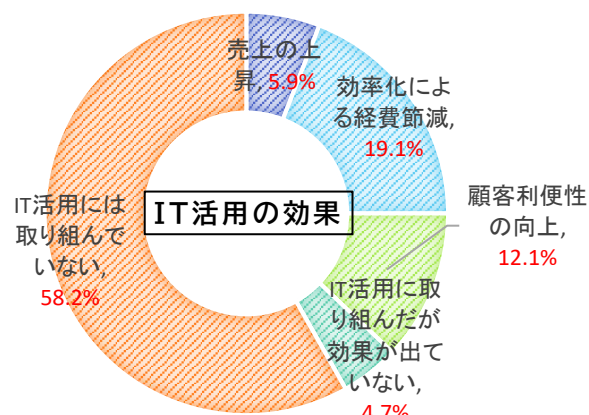
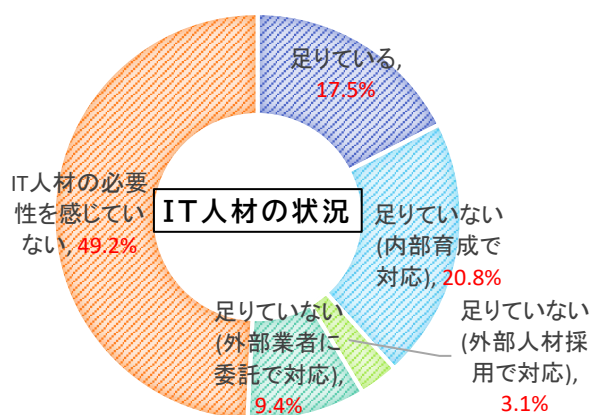
問2 新常態へ移行していくなかでの不安

新常態へ移行していくなかでの事業継続上の不安、心配、懸念事項についての問いに対し、「既存事業の需要減少」回答が38%、「先行き不透明による計画策定困難化」が34.6%となった。次いで「雇用の確保、維持、継続」が24.4%で、雇用の維持や慢性的な人材不足に不安を抱える回答も多かった。



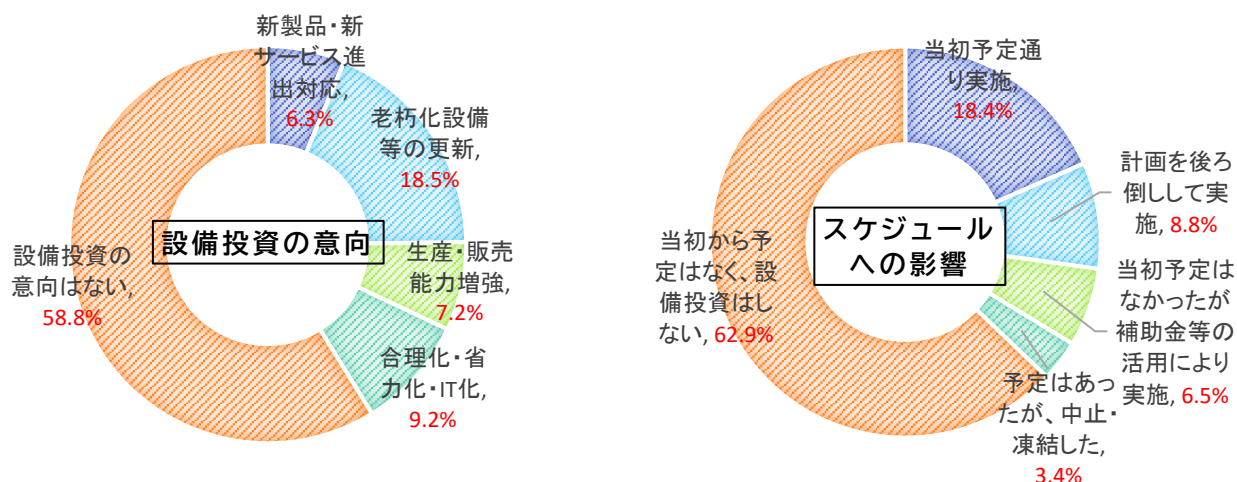
問3 IT人材の状況と IT活用の効果

新常態へ向けてIT人材の重要性が高まる中、人材の状況についての回答では、「必要性を感じない」が49.2%と約半数を占めた。「足りていない」は合計33.3%で、うち「内部育成で対応」が20.8%、「外部人材採用」が3.1%、「外部業者に委託」が9.4%となっている。また、IT活用による効果についての回答では、「取り組んでいない」が58.2%ある一方で、効率化による経費削減19.1%、顧客の利便性の向上12.1%と、一定の効果が表れている回答が見られる。



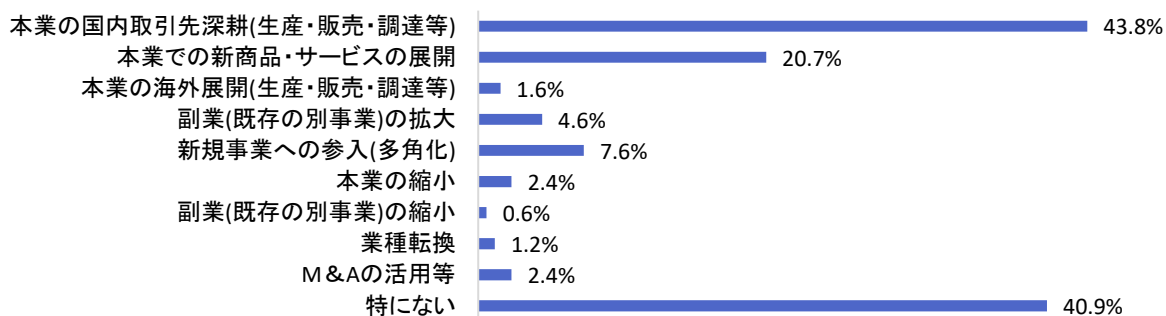
問4 新常态へ向けた設備投資の意向と、コロナ禍による設備投資のスケジュールへの影響

設備投資については、「投資の意向はない」が58.8%と約6割を占めた。「新製品・新サービス進出対応」6.3%、「合理化・省力化・IT化」9.2%と割合は低いが、新型コロナウイルス感染症拡大を機会として新常态へ向けての設備投資の意向も見られる。また、コロナ禍が設備投資のスケジュールに及ぼした影響についての回答には、「当初から予定はなく、設備投資はしない」が62.9%と大半を占めたが、「当初予定通り実施」が18.4%、「計画を後ろ倒しして実施」が8.8%、「当初予定はなかったが補助金等の活用により実施」が6.5%、「予定はあったが、中止・凍結した」3.4%となっている。



問5 今後想定される事業展開の実施または検討

今後の事業展開の実施・検討についての回答では、「本業の国内取引先深耕」が43.8%、「本業での新商品・サービスの展開」が20.7%となった。業種別に見ると、「新規事業への参入(多角化)」の項目で、卸売業が最も多く、新たな事業展開への意向が窺える結果であった。



わたしたちのマチの元気企業 ⑮



淡路島産おのころ玉ねぎは、瀬戸内海特有の温暖な気候と風土で育った甘く優しい味の玉ねぎです。

一般的な玉ねぎに比べて4%程高い平均9以上の糖度を誇り、その甘さはいちごに匹敵します。

(有)山仙青果では、兵庫県認証制度であるひょうご安心ブランドの認証をうけ、良食味で安心・安全な農作物づくりに取り組んでいます。

また、農場・生産工程の安全性を認証するJGAPを取得し、安心・安全な玉ねぎを全国の皆様へお届けいたします。



オンラインからご購入いただけます。

<http://www.onokorofarm.com/>



社名 有限会社 山仙青果

代表 山口 浩一

〒656-1606 兵庫県淡路市室津 1278

TEL. 0799-84-1736

FAX. 0799-42-4665

営業時間 8:30-17:30

定休日 土・日・祝日

株式会社今永製本

みなさまの本づくり一筋。

熟練の職人技で作ります。

「株式会社今永製本」は 1980 年の創業以来、製本一筋に取り組んできました。

その長年にわたる経験とノウハウを結集して各分野に経験豊富なスタッフをそろえ、みなさまの「本づくり」のご要望におこたえしております。

【経営理念】

今永製本は、「製本」にかかわるお客様からのあらゆるご要望に「できません」とはいいません。1980 年の創業以来、製本一筋に取り組んできたノウハウを結集して、金文字ファイル、文字入り製本からスキヤニング、データの電子化など、最善の仕上がりをお届けします。

【製品紹介】

私どもは 1 冊の製本・ファイル・図面箱からあらゆるものを少量から多量に至るまで製作し、全国に発送を行っております。

近代における急速なテクノロジーの進化と共に、常に技術改良を心掛け、自然環境やひとに優しいものづくりを目指して、顧客のあらゆるニーズにお応えできるように全力で研究・開発・製造に鋭意努力致しております。



パイプファイル

(用途)
完成図
施工図・竣工図
取扱説明書
提案書
カタログ



今永式箱付ファイル

(用途)
官公庁提出用
完成図
竣工図

※一部抜粋（その他製品についてはホームページをご覧ください。）

<https://www.imanagaseihon.co.jp>

【各種加工・サービス】



当社は製品以外にも各種加工についても各分野ごと（製本・表紙・箔押・データの出力／印刷）に分け、丁寧に製品を仕上げております。折りや断裁、箔押などのさまざまなサービスも提供しております。当社、主な設備機器に関してもホームページでご案内しておりますので是非、ご覧ください。

神戸市中央区生田町 3 丁目 3 番 28 号

TEL : 078-242-3233 FAX : 078-242-3285